

世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト

団体名 多摩大学経営情報学部梅澤ホームゼミナール「世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト」

代表者 前田将太郎

① 事業内容

【目的・目標】

本プロジェクト（以下、PJと省略する）は、八王子社会福祉協議会第4地区民生委員・ボランティアと大学生が連携し、八王子市地域包括支援センター旭町（以下、センターと省略する）協力のもと、「駅前という特徴を活かした高齢者のためのサロン」の運営を行うものである。

八王子駅前ビルが乱立する商業地域であるが、ビルオーナーとして独居する高齢者は意外に多く、さらに近年は駅周辺再開発により高層マンションの新築が続き、新たに移住された高齢者も増えている。本事業はこのような現状を踏まえ、高齢者の交流の場の仕組みづくりを目的としている。

目標の第一は、高齢者の方々が自然体でゆったりと過ごすことができ、多世代で交流し合える「みんなのゆったりサロン」である。第二は、高齢者の活動の活性化を推進していくことで健康長寿の一助となることである。第三は、地域団体と連携して「駅前」という利便性と特色を活かした継続性のある事業を目指すことである。

【活動の経緯】

本PJは平成28（2016）年6月に始まり、今年度が2年目となる事業である。ゼミでは、これまで多摩市を中心に継続的な問題解決型地域PJを行ってきたが、2016年春、八王子市側から「ゼミ活動を八王子市にも広げてみないか。」と声をかけていただき、八王子市社会福祉協議会第4地区民生委員の皆さんとの連携活動が始まった。

【事業内容】

(1) 開催場所・日時

開催場所はJR八王子駅前からお年寄りの足で徒歩5分の雑居ビル3階にある八王子市地域包括支援センター旭町の一室を利用。開催日時は毎月第3木曜日午後2時から3時30分の90分である。今年度は2017年4月から2018年3月までの計10回（8・2月は休み）のサロンを予定しており、1月までに9回実施した。尚、学生企画事業補助金対象となる事業は、その内9・10・11・12月の計4回である。



(2) 駅前サロンの運営方法

サロンの企画運営は、八王子市第4地区民生委員・ボランティアの方々と梅澤ゼミPJメンバーで分担している。民生委員・ボランティアの皆さんは、担当地区の高齢者にサロン参加の呼びかけや当日の茶菓子の準備・提供、歌の時間の選曲と演奏、おもてなし、交流等々を、地域包括支援センターは場所の提供、職員の方は、受付、サロン終了間際にお帰りの準備として体操プログラムを担当して下さっている。

(3) 学生の役割・活動内容

学生の役割は主に2つに分けられる。1つはサロンの司会、クイズ等の話題提供、参加者の方との交流、次回のサロンを紹介するチラシやサロンを知ってもらうためのパンフレット作成等である。その他には地域高齢者の生活実態やニーズの調査とそれに基づくサロンの改善案を提案していくことである。

② 2017年度の実施報告

昨年度は初めての取り組みであったため、サロンの仕組みづくりを行うことが最大の目的であった。何をどのように行ったらよいのか、連携団体の皆様と共に活動する中で自分たちの役割を模索しながら試行錯誤であった。

(1) サロンの運営

今年度は2年目ということもあり、センター職員、民生委員の皆さんからは「話題の工夫」、「積極的なコミュニケーション」等、学生側への要望を頂いた。昨年、若い世代の興味関心も知っても

raitaiと思ひ、共通の話題「野球」をテーマに人気の若い選手や大リーグの話題を準備したが、評判が悪かった。そこで今年度は、開催時期にあった話題（季節の豆知識）、脳トレクイズなどに話題を切り替えることにした。新年度新たにPJメンバーになった2年生の自己紹介、独り暮らしでも簡単に料理できる季節にあったレシピ、〇×クイズなど高齢者の方々に楽しんでもらえて、尚且つ我々と共通の話題を用意し楽しんで頂けるように工夫した。PJメンバーの「本日の話題」提供後、続けて「ご歓談」につながるので、「本日の話題」選びはそのあとに続く歓談の材料として重要であると考へた。

(2) チラシの作成

チラシには、次回のサロンの日時を大きく見やすく記載し、あわせて次回のサロンまでに開催される八王子周辺のイベント情報で高齢者に興味を持ってもらえそうな内容を民生委員の方から情報提供いただき2~3つ紹介している。

その目的はサロン以外高齢者の方々が少しでも外出し、外との交流を持って刺激を受けてもらうことである。サイズは、小さなバックに収まりやすく、家では冷蔵庫や玄関に張りやすい「A5サイズ」とした。

(3) パンフレットの作成（新規の取組み）

サロン運営にあたり、より多くの方々に駅前サロンの存在を知っていただき、ご利用いただくためにパンフレットの作成を行った。パンフレットにはサロン開催中の写真と共に「世代間交流」という本サロンの特徴、今年度分の日程、八王子市地域包括支援センター旭町の場所をわかりやすく記載した地図（提供：センター）を記載した。パンフレットは、民生委員の方々を通じて個人や公共機関等に配布していただいた。

(4) 民生委員の方々との会議

通常、サロン終了後にミーティングを行っているが、7月に多摩大で下半期の活動に向けて民生委員の方々と打合せを行った。目的は、2年目の上半期を終えて形が固まってきた時期ということである。現在の活動の課題、今後に向けての改善点などについて意見交換を行った。連携団体の皆様からは

「活動に入る際の気構えを見直してほしい。」という要望が出され、先を見据えた活動の方向性（3年生から2年への引継ぎなど）についてPJメンバー民生委員の方々、ゼミ担当教員の梅澤先生で話し合った。

③ 2017年度成果と課題

(1) サロンの運営

サロンは、2016年6月に第1回が開催されてから、12月までで16回実施した。今年度は12月までに8回開催し、平均参加者数は16名である。今年度の最大人数は第15回の23名であるが、利用施設の規模から、運営側を含め30名が限界である。新規・常連の参加者のバランスが取れているのは、民生委員の方々のお声掛け等ご協力のおかげでだと思う。ご夫婦での参加、「無料パスがあるのでサロンに来た。」という方など参加者の幅も広がってきた。参加者からは「知り合いが増えてうれしい」、「色々な人と楽しくしゃべれる場があり、1カ月に1度の楽しみ。」「学生としゃべるのは楽しい。」などのお言葉を多くいただくことができた。

(2) 気づきと課題

耳が遠い高齢者の方々が一緒にサロンのプログラムを楽しんでもらえるようPPTの工夫である。聞こえなくても内容が理解できるアニメーションの方法を学んだ。また、内容は日常生活で役立つ物、有益な情報提供が大切であること。活動は参加者の反応を見て修正をしていくこと。そして、学生側が明るく元気に積極的に動くこと、傾聴することが大切なのだった。共通していることは、コミュニケーション能力ひとつだが、大変難しいということがわかった。テーマ設定の重要性と我々の柔軟な対応が求められている。

謝辞

最後になりましたが、八王子社会福祉協議会第4地区民生委員・ボランティアの皆様、八王子市地域包括支援センター旭町の皆様に、またこのような機会を与えて下さった大学コンソーシアム八王子関係者の皆様、そして何よりサロンをご利用いただいている高齢者の皆様に心から御礼申し上げます。

プロジェクトメンバー

前田将太郎 安池 輝 (3年)

内田莉暉 大澤達喜 小野澤 瞳 北島美希(2年)



次回のチラシ



PR用パンフレット